

ぐんま水素ビジョン2035概要

背景

- 国において、水素は**2050年カーボンニュートラルの実現に向けた鍵となるエネルギー**と位置付けられており、全国各地で水素等利活用に向けた取組が推進されている。
- 群馬県においても、産業部門における**高温域の熱需要等の電化が困難な領域**や運輸部門における**大型商用車の燃料**として、水素等利活用の検討が求められている。

目的

- グリーンイノベーション群馬戦略2035で掲げた水素等利活用の具体化を図り、群馬県の目指すべき姿や取組の方向性を示すことで、全国的な水素等利活用推進の流れに沿って、**事業者の投資予見性を高める**一助とする。

計画期間

- 2026年度～2035年度

2050年度の目指すべき姿

県内産業の発展とカーボンニュートラルを同時に実現するため、**低炭素水素等が産業部門や運輸部門で利用される社会**

取組の方向性

水素等の供給

県内での水素製造と港湾部からの水素等の移入のベストミックスにより、安定供給と経済合理性を両立可能な供給方法を検討

水素等の利用 | 産業部門

県内事業者が電化困難な領域を特定し、水素・アンモニアの利用に向けた実証に踏み出すための取組を実施

水素等の利用 | 運輸部門

県内事業者がFCトラックを導入できるよう大規模水素ステーションの誘致を検討

ビジョンの構成

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① 国と群馬県の現状 | ④ ロードマップ ^o |
| ② 2050年度の目指すべき姿 | ⑤ 取組の方向性 |
| ③ マイルストーン | ⑥ 推進体制 |